

広告

宇部興産中央病院医療最前線  
— シリーズ患者さんに寄り添う専門医療 13 —



# アレルギー性鼻炎 もうすぐスギ花粉の シーズンです



耳鼻咽喉科  
診療科長  
奥田 剛

専門分野 ●めまい平衡  
認定医・専門医・指導医 ●日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医  
●補聴器適合判定医・補聴器相談医 ●めまい相談医 ●難聴性難聴担当医  
得意とする診療内容 ●メニエル病を代表とするめまい疾患

アレルギー性鼻炎は、季節性と通年性の2種類に分類されます。これらには日本独特のスギ花粉症の存在があります。季節性アレルギー性鼻炎は、主にスギ花粉、カモガヤなどイネ科花粉、ブタクサなどキク科花粉によるものが多いです。アレルギー性鼻炎の有病率は約40%との報告もあり、通年性が23%、花粉症が30%、スギ花粉症が26%ともいわれています。また、アレルギー症状を引き起こす原因物質をアレルゲンといいます。最近では、アレルゲンは一つではなく、スギとダニなど重複して反応する方も多いようです。

鼻汁・鼻閉・くしゃみなどアレルギー性鼻炎の3大症状が出ますが、治療の原則は、①「やらせぬ」です。自分が反応するアレルゲンにさらされなければ症状が出ないので、アレルゲンをできるだけ回避するのが得策です。花粉症の方は、花粉飛散情報を活用し、外出時にはマスクや眼鏡でアレルゲン曝露(はくろ)をできるだけ少なくすることが良いと思われます。ハウスダスト・ダニが原因の方は、寝具、カーペットの洗濯・清掃の徹底が望ましいです。しかし、それでは効果が十分でないことから、②「薬物療法」を併用します。最も広く普及しているのは抗ヒスタミン薬です。効果が早い反面、眠気などの副作用があり、自動車運転などに支障を来すことがあります。他に、ロイコトリエン受容体拮抗薬、漢方薬などがありますが、効果の発現が遅いなど特性が違いますので、その方その方の症状に合わせて薬剤選択を行い、時には併

用して治療を行います。中でも鼻噴霧用ステロイドは効果が強く、全身の副作用が少ないという特徴があります。

花粉症、特にスギ花粉症は花粉飛散時期がある程度予測できますので、飛散開始前に内服を開始する初期療法が勧められます。花粉曝露で鼻症状が出るまでの間の症状がつかず、早期に飲んでおくことで症状のコントロールがしやすく、生活の質が上がります。毎年花粉症に悩まされる方は、飛散開始予想日の2週間程度前に耳鼻咽喉科を受診されると良いと思います。

これまで述べた薬物療法は、即効性がありますがあくまで対症療法です。薬の使用をやめると症状は再発します。自然軽快もなかなか期待できません。根本的な治療法として、③「アレルゲン免疫療法」があります。即効性に乏しく長期的な通院が必要なこと、全身の副作用の可能性があることなどなかなか難しい治療方法です。

国民病ともいえるスギ花粉症の時期がもうすぐやってきます。マスク着用で曝露される花粉の量を減らし、花粉飛散前にお薬を飲み始めることで、できるだけ症状を緩和してうまく乗り切ってください。



宇部興産中央病院は地域医療支援病院です



〒755-0151 山口県宇部市大字西岐波750番地  
地域連携室 ☎0836-51-9421